

授業概要

幼稚園や保育園で日常的に行われている音楽表現について、『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「表現」をふまえながら理論的・実践的に理解を深めるとともに、その指導法を修得する。また、子どもの学びの連続性を確保するためには、保幼小連携の視点が大切となる。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとして、保幼小連携の在り方についても考える。

授業計画

| | |
|--------|---|
| 第 1 回 | ガイダンス, 世界の音楽教育メソッドについて知る |
| 第 2 回 | 手で奏でる活動～手あそび・手話の歌 |
| 第 3 回 | 歌う活動①～童謡をア・カペラで 100 曲歌う練習 |
| 第 4 回 | 歌う活動②～歌唱活動における保育者の支援と歌唱指導について（模擬授業に向けて） |
| 第 5 回 | 身体で奏でる活動～ボディパーカッション・リトミック |
| 第 6 回 | 身近な音素材を聴く活動①～身の回りの音素材探し（サウンドスケープ）(ICT の活用) |
| 第 7 回 | 楽器の活動①～楽器あそび・基本奏法, 身近な音素材を聴く活動②～音から音楽へ |
| 第 8 回 | 絵本と音楽①～絵本と音楽の関係について考え, 絵本に音・音楽をつける (ICT の活用) |
| 第 9 回 | 絵本と音楽②～絵本に音・音楽をつけながらの読み聞かせの発表 (ICT の活用) |
| 第 10 回 | 歌う活動④～歌唱指導 (模擬授業の発表) |
| 第 11 回 | 楽器の活動②～太鼓あそび, 太鼓の基本奏法 (基本リズム), 歌う活動⑤～わらべうたあそび |
| 第 12 回 | 楽器の活動③～太鼓の合奏演習, 創作の活動①～太鼓を用いた創作について知る |
| 第 13 回 | 創作の活動②～創作お囃子を作る |
| 第 14 回 | 創作の活動③～創作曲を練る |
| 第 15 回 | 創作の活動④～創作曲を完成させる |
| 第 16 回 | 実技試験～ア・カペラ課題, 楽器の基本奏法, 創作お囃子の発表 |

到達目標

- ・領域「表現」における音楽表現の扱いについて学び, そのねらいと内容を理解することができる。
- ・童謡 100 曲 (歌), 幼児が親しみやすい打楽器の奏法技能, 即興表現の能力, 音・音楽づくり (創作) 能力を修得することができる。
- ・想像力と創造力を伸ばすことができる。
- ・世界の音楽教育メソッドについて理解することができる。

履修上の注意

- ・グループやペアなど仲間と協力して音楽づくりを進めること。
- ・積極的に様々な音楽表現を体験すること。
- ・遅刻 3 回で 1 欠席扱いとする。
- ・欠席する場合は事前にメールで連絡をすること。また, 証明できるものの添付された欠席届を次の授業の際に提出すること。ただし, 欠席届を提出しても出席扱いとなるわけではない。

予習・復習

- ・予習：音楽の各技能の向上を目指すには日々の練習が欠かせない。必ず練習をして授業に臨むこと。
- ・復習：クリアした課題はいつでも演奏できるよう, 継続して練習すること。さらに, 理論については難しい内容もあるため, 授業内で理解できない内容があった場合は積極的に質問し, 理解を深めること。

評価方法

実技試験 (40%), 絵本と音楽表現発表 (20%), レポート (20%), 学習態度・課題提出 (20%)

テキスト

- ・教科書名：(仮)『保育者のための表現あそび ー音楽・身体・造形のアイディアー』
- ・著者名：若谷啓子・桐原礼・齊藤淳子・渡辺敏明↑今年の7月に発行予定で, 著書名がまだ決定していません。価格も未定です。
- ・出版社名：大学図書出版
- ・出版年 (ISBN)：978-909655-70-7
- *昨年度までと教科書が変更になるため, 必ず購入すること。
- *その他, 適宜, 資料を配布する (A4 サイズのスクラップブックを準備すること)